

第3回有田保健医療圏構想区域調整会議 議事録

日時 平成30年2月22日(木) 14:00~15:00

場所 有田振興局 3階 大会議室

1 開会・挨拶(湯浅保健所 松本所長から挨拶)

2 議題

◇地域医療構想の実現に向けて

- (1) 第2回有田保健医療圏構想区域調整会議(個別会議)の結果報告について
- (2) 「公的医療機関等2025プラン」について
- (3) 「地域医療連携推進法人制度」について
- (4) 新たな介護保険施設(介護医療院)について
- (5) 「その他」

(松本所長)

議題(1)「第2回有田保健医療圏構想区域調整会議(個別協議)の結果報告」について事務局より説明をお願いします。

(事務局 川橋主査)

資料1により「第2回有田保健医療圏構想区域調整会議(個別会議)の結果報告」について説明。

(松本所長)

事務局からの説明に関してご意見・ご質問等はあるか。

(特になし)

(2)「公的医療機関等2025プラン」について事務局から説明をお願いします。

(事務局 川橋主査)

資料2により「公的医療機関等2025プラン」について説明。

(松本所長)

続いて、「公的医療機関等2025プラン」の内容について、済生会有田病院から説明をお願いします。

(伊藤委員:済生会有田病院)

資料3により「公的医療機関等2025プラン(社会福祉法人恩賜財団済生会有田病院)」について説明。

(松本所長)

済生会有田病院からの「公的医療機関等2025プラン(社会福祉法人恩賜財団済生会有田病院)」の説明に関してご意見・ご質問等はあるか。

(中村委員：有田市医師会)

P.7②診療科の見直しについて<今後の方針>表中にある「新設」に記載の「訪問診療センター」は、どのような位置づけになるのか。

(伊藤委員：済生会有田病院)

「訪問診療センター」については、現実的にまだ明確な予定はないが、今後、我々がどのようなことをしていかなければならないのかと考えたところ、済生会有田病院としては、訪問看護ステーションが充実しており、それを活かすということが1つ。

2つ目は、うちのような中小病院においては、地域包括ケアシステムを今後ちゃんと展開していく必要があるのではないかと考えている。ただ、現状としてはマンパワーの余裕はないが、「総合診療科」というのは、内科・総合内科・内科一般というような形で簡単な手術等もできるような医師を雇用することができれば、その医師を中心として看護師等と一緒に訪問診療をするというのが厚労省の地域包括ケアシステムに沿ったやり方ではないかと考えているところであるが、時期などについては現状、全くの不透明な段階である。

(中村委員：有田市医師会)

訪問診療と言えば、我々医師会としては、在宅医療サポートセンターを運営している関係上、かかりつけ医の紹介やかかりつけ医制度の充実を図っていく方向に重きをおいている訳であるが、病院と医師等がセンターを立ち上げて訪問診療をされるということになれば、医師会からするとバッティングするところがあり、以前、有田市立病院とも話した経緯があるが、またその際には医師会と協議いただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

(松本所長)

他にご意見・ご質問等はあるか。

(特になし)

また協議・連携の上、よろしくお願ひする。

昨年(平成29年)の秋頃、「病床機能の現状及び今後のあり方等に関するアンケート調査」についてご協力いただいたところであるが、2025年の地域医療構想の実現に向けて、みなさんと病床機能の現状及び今後の方針等について情報共有を図らせていただきたい。

については、各病院(済生会有田病院・こころの医療センターを除く)における現時点での病床機能転換への意向及び今後の方針等も含め、順にご発言願ひたい。

まず、有田市立病院からお願ひする。

(尾野委員：有田市立病院)

先程話に出たが、地域包括ケア病床に転換したばかりであり、現在は急性期病床54床、回復期病床99床の計153床と、感染症病床4床の併せて157床である。公立病院の本来の姿として、また地域で必要とされる医療の提供として、特に、救急医療、周産期医療、小児科医療等の不採算部門の診療継続と安定した経営を目標としている。

まず、一つ目の救急医療については、現在診療可能な急性期の患者の流出を抑制し、医大・日赤より回復期患者の受け入れの促進を図っているところである。救急に関しては、内科が充実してきており、診ることができる可能な範囲で診療を行っているところである。応需率についても現在70%程度となっており、引き続き更に伸ばしていきたいと考えている。

続いて、周産期医療と小児科医療については、現在、産婦人科の医師が1名であるが、出産件数も伸びつつあり、小児科の医師は4月から常勤で1名配置予定である。また、麻酔科の医師も4月から常勤で1名配置予定であり、更に充実を図っていきたい。

また、災害医療については拠点病院にもなっているため、災害医療対策の充実に向け、今年(平成30年)医師、看護師、理学療法士の3名がDMAT養成研修を受けに行っており、DMATが2チーム編成できればと考えている。

次に、在宅医療については後方支援病院であり、訪問看護ステーションも併設している。有田市医師会・有田医師会とのかかりつけ医の連携を図っており、地域包括ケアシステムを大きく展開をしているところである。

また、もの忘れ外来、いわゆる認知症外来を週1回展開しているところであり、和歌山県下の認知症ネットワークが構築されつつあるが、いずれその中に入っていきたいと考えている。

(松本所長)

続いて、西岡病院から願います。

(西岡委員代理：西岡病院)

病床機能については、当院は急性期32床、回復期28床、慢性期60床であり、現状は稼働率が満床に近い状況である。今後、地域の現状を勘案しても常に満床に近い状況であるため、これを維持しつつ地域貢献を果たしていきたいと考えている。

また、4月から皮膚科の専門医(非常勤)も配置予定であり、地域のニーズに合った診療科も充実させるとともに、地域医療に貢献していきたい。

(松本所長)

続いて、桜ヶ丘病院から願います。

(成川委員：桜ヶ丘病院)

現在、慢性期99床であり、内訳としては特殊疾患病床は49床、医療療養病床は50床である。特に、今後病床を転換する予定はない。

(松本所長)

続いて、有田南病院から願います。

(南委員代理：有田南病院)

現在、急性期26床、慢性期45床ですが、以前急性期病床から回復期病床（地域包括ケア病床）へ6床転換する承認を得て以来、しばらく時間をいただき申し訳なかったところであるが、11月から実績を取りつつ、どのように運用していくかを院内で協議した結果、まず4床から始めたいと考えているところである。1月に実績は取り終えたが、診療報酬の改定が控えており、その動向を踏まえつつ、4月申請、5月開始の目途で考えている。

(松本所長)

ただいまご発言いただいた内容等について、ご意見・ご質問等をいただく前に、本日欠席の5有床診療所について、「病床機能の現状及び今後のあり方等に関するアンケート調査」に基づき、事務局より報告をお願いします。

(事務局 川橋主査)

ただいま、各病院から病床機能の現状及び今後の方針等について、ご発言いただいたところであるが、本日、5有床診療所が欠席となっているため、みなさんに御協力いただいた「病床機能の現状及び今後のあり方等に関するアンケート調査」に基づき、簡単に紹介させていただきます。

有田保健医療圏には有床診療所は5箇所あり、病床機能については、資料1の2枚目の一覧に掲載しているとおりであります。

なお、全ての有床診療所において、現段階では病床機能の転換等は考えておらず、現状維持である旨聞いており、各医療機関がそれぞれの立場で役割を担っていただいているところである。いくつか例をあげると、今後も圏域の周産期医療を担っていく方向でお考えの医療機関もあれば、救急の受け入れ等に御尽力いただいているところもある。

一方、患者の在宅復帰に向け、力を入れている医療機関もあり、急性期から在宅への橋渡し役として役割を担っていきたいとお考えのところもある。

以上、簡単ではあるが、現状と今後の方向性等について報告する。

(松本所長)

各病院からただいまご発言いただいた内容について、何かご意見・ご質問等はあるか。

(特になし)

次回以降の調整会議においてもみなさんと情報共有を図りながら、進めてまいりたいので、みなさんのご理解、ご協力をよろしくお願いしたい。

また、今後、病床機能の転換やその転換に伴う補助金の活用等については、方向性が決まり次第、事務局への情報提供をお願いします。

なお、昨年度（平成28年度）、有田市立病院には「新公立病院改革プラン」を、ま

た、このたび済生会有田病院には「公的医療機関等2025プラン」を策定いただいたところであるが、今後も引き続き2025年の地域医療構想の実現に向けて、その他の民間病院等においても自院が将来において担っていく機能の方向性等についてよくご検討いただくよう併せてよろしくお願ひしたい。

続いて、議題（3）「地域医療連携推進法人制度」について事務局より説明をお願ひする。

（事務局 川橋主査）

資料4により「地域医療連携推進法人制度」について説明。

（松本所長）

事務局からの説明に関してご意見・ご質問等はあるか。

（特になし）

続いて、議題（4）「新たな介護保険施設（介護医療院）」について事務局より説明をお願ひする。

（事務局 川橋主査）

資料5により「新たな介護保険施設（介護医療院）」について説明。

（松本所長）

事務局からの説明に関してご意見・ご質問等はあるか。

（特になし）

今後、介護医療院への転換等についても、予定等方向性が決まれば、事務局への情報提供をお願ひする。

議題最後の（5）「その他」であるが、他に何か議題事項はないか。

（特になし）

特にご意見等も無いようなので、以上で本日の議事を終了する。